

事務事業の概要・計画 (PLAN)


事務事業名	健康増進事業	会計名称	一般会計		担当課	健康増進課		
		予算科目	4 款 1 項 2 目	事業番号	2041	所属長名	渡辺 悦子	
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	戸谷 香代子		
法令根拠等	健康増進法、がん対策基本法、(高齢者の医療の確保に関する法律) 平成28年度新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業実施要綱、愛媛県健康増進事業費補助金交付要綱				実施期間	【開始】	平成 17 年度	
総合計画での位置付け	健康福祉都市の創造 生涯にわたる健康づくり					【終了】	平成 年度(予定) ■ 設定なし	
総合計画における本事業の役割	総合計画における健康福祉都市の創造に向けて、全ての市民が生涯にわたる健康づくりに取り組むことで健康寿命の延伸を図ることができるよう、事業を実施することとする。							
事業の対象	市民	事業の目的		急速な高齢化の進展及び生活習慣病増加に伴うさまざまな健康課題について、市民一人ひとりが、生涯を通して豊かで健やかな生活を送るため、個人、家庭、地域、学校、職場などがともに力を合わせ健康づくりの推進に取り組むとともに、健康づくりが日常生活に定着し、継続されることを目指す。				
事業の内容(整備内容)	第2次伊予市健康づくり計画に基づき、健康相談、訪問指導、健康教育、健康手帳交付、各種がん検診等を実施していく。		昨年度の課題に対する具体的な改善策		地区担当保健師を中心に、各地域の健康課題に即した健康教育・健康相談の運営に努める。がん検診の個別勧奨を行い、受診率向上に努める。			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)						
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	27年度実績	28年度予定	9月末の実績	28年度実績	
直接事業費	39,176	45,402	0	0	0	37,937	健康相談利用者数	人	1715	2000	307	952	
財源内訳													
国庫支出金	778	69	0	0	0	376							
県支出金	1,209	1,281	0	0	0	1,165							
地方債		0	0	0	0	0							
その他	14	0	0	0	0	0	健康教育参加者数	人	955	1100	851	2056	
一般財源	37,175	44,052	0	0	0	36,396							
職員の人工(にんく)数	2.18	3.05				0.00	訪問指導実施者数	人	174	250	46	119	
1人工当たりの人件費単価	8,042	8,086				8,086							
※ 直接事業費+人件費	56,708	70,064				37,937	がん検診受診者総数	人	7836	8500	3163	6192	
主な実施主体	直接実施		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)										
向こう5年間の直接事業費の推移(千円)					29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	5年間の合計			
					50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	250,000			
成果指標	指標	健康増進事業活動指標の総数(健康相談+健康教育+訪問指導+がん検診)を成果指標とする。			単位	区分年度	27年度	28年度	29年度	目標 毎年度			
	指標設定の考え方				健康増進事業参加者数は、市民の健康づくり活動に関する意識の向上を数的に示す上で基本の評価指標となる。	人	目標	11850	11850	12000	12500		
	指標で表せない効果					実績	10680	6942	9319				

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		健康相談については健診事後指導を結果報告会から健康相談会に方法を変更したことにより全体の実績が少なくなっているが、地区担当保健師による電話や訪問等による個別支援に重点を置き、重症化予防に努めていきたい。健診者数が前年度の同時期よりも少ない状況から、後半の健診日程に合わせ受診勧奨を強化していきたい。															
事業	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	健康相談の実績は少なくなったが、集団健診の待ち時間を利用して伊予市の健診受診率や死亡原因についての健康教育を実施、健康教育の実績は増加した。健診は全体的に受診者数が減少、子宮がん・乳がん検診は2年に1回受診と なって以降、婦人検診が受けられない年は他の項目も受けないケースがあり、全体として受診者数減に影響があると思われる。特定健診受診勧奨と併せてがん検診も受診勧奨しているが、もっと効果的な受診者数対策が必要。				
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1			5 4 3 2 1			
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1			5 4 3 2 1	5 4 3 2 1		
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1			5 4 3 2 1	従来から実施してきた健康教室はこちらが企画して参加者を集める方式だったが、ここ数年は参加者の減少と固定化が課題となっていた。健診待ち時間を活用した健康教育を今年度実施してみたが、健診受診者という特定の対象者に対し、伝えたいことを伝える機会としては有効だったと思う。今後も様々な方法を検討し、健康づくりを広げていけるよう取り組んでいきたい。結果報告会から相談会方式に変えた1年目であるので、総数の減少はある程度やむを得ないと言える。重症化予防という大きな目標に向かって、必要なケースに必要な指導を行っているよう、体制づくりが必要かもしれない。		
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1			5 4 3 2 1			
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1			5 4 3 2 1		5 4 3 2 1	
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A				
		コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1			合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A		
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1					合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	事業の方向性 所属長の課題認識	■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 市民の健康づくりを推進し、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指し、行政と市民が一体となって、継続して取り組む事業である。				
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1			5 4 3 2 1			
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1			5 4 3 2 1	5 4 3 2 1		
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1			合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A		
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1					合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A
		施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1						
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A					
	コスト効率	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1			合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A			
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1					合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容 <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>
------------	------	-----------------------------------------------------------------------------------

今後の方向性 (ACTION)

の経営者会議 最終判断	事業の方向性	コメント欄 <div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>	
	<input type="checkbox"/>		さらに重点化する。
	<input type="checkbox"/>		現状のまま継続する。
	<input type="checkbox"/>		右記の点を見直しの上、継続する。
	<input type="checkbox"/>		事業の縮小を行う。
	<input type="checkbox"/>		事業の休止、廃止を行う。